

# ヤマハニュース

YAMAHA NEWS NO.94

'71 **4** APR.



体の需要を倍増する **新発売**

**ヤマハトレールLHT90**  
**ヤマハスポーツAX125**  
**ヤマハメイトV90-D**

# 4月のカレンダー



1  
2  
3  
4  
5  
6  
7  
8  
9  
10  
11  
12  
13  
14  
15  
16  
17  
18  
19  
20  
21  
22  
23  
24  
25  
26  
27  
28  
29  
30

天皇日  
誕生日

新学年、入学、初出勤と、四月は人生航路の新しい出発点です。

人の動きにつれて、お店のご商売もいよいよ活気に満ちてきます。

ビジネス用や、レジャー用も大きな需要が見込まれるときです。

安全運転キャンペーンや、運転免許教室を母体に、新しい需要をどんどんほりおこしていきましょう。

また春はスポーツのシーズンです。戸外に飛びだしましょう。

春の訪れが遅い東北、北海道の地区も、花だよりがさかんです。

飛び石連休を利用して、花見ツーリングなどを企画してみてもいかがでしょう。

残雪を訪ねて、トレールランもまた楽しく、とくに若いお客さまには喜ばれます。

若さがいっぱい、ヤマハヤングルックに身を包んで、グループで出かけましょう。

いっぽうレース関係では、各地でモトクロス大会が行なわれるようになります。

スタートしたヤマハスポーツレジャー会ⅡSLを利用して、レース観戦に出かけるのも拡販に役立ちます。

さあ、積極的に商売していきましょう。

■情報化時代の部品管理

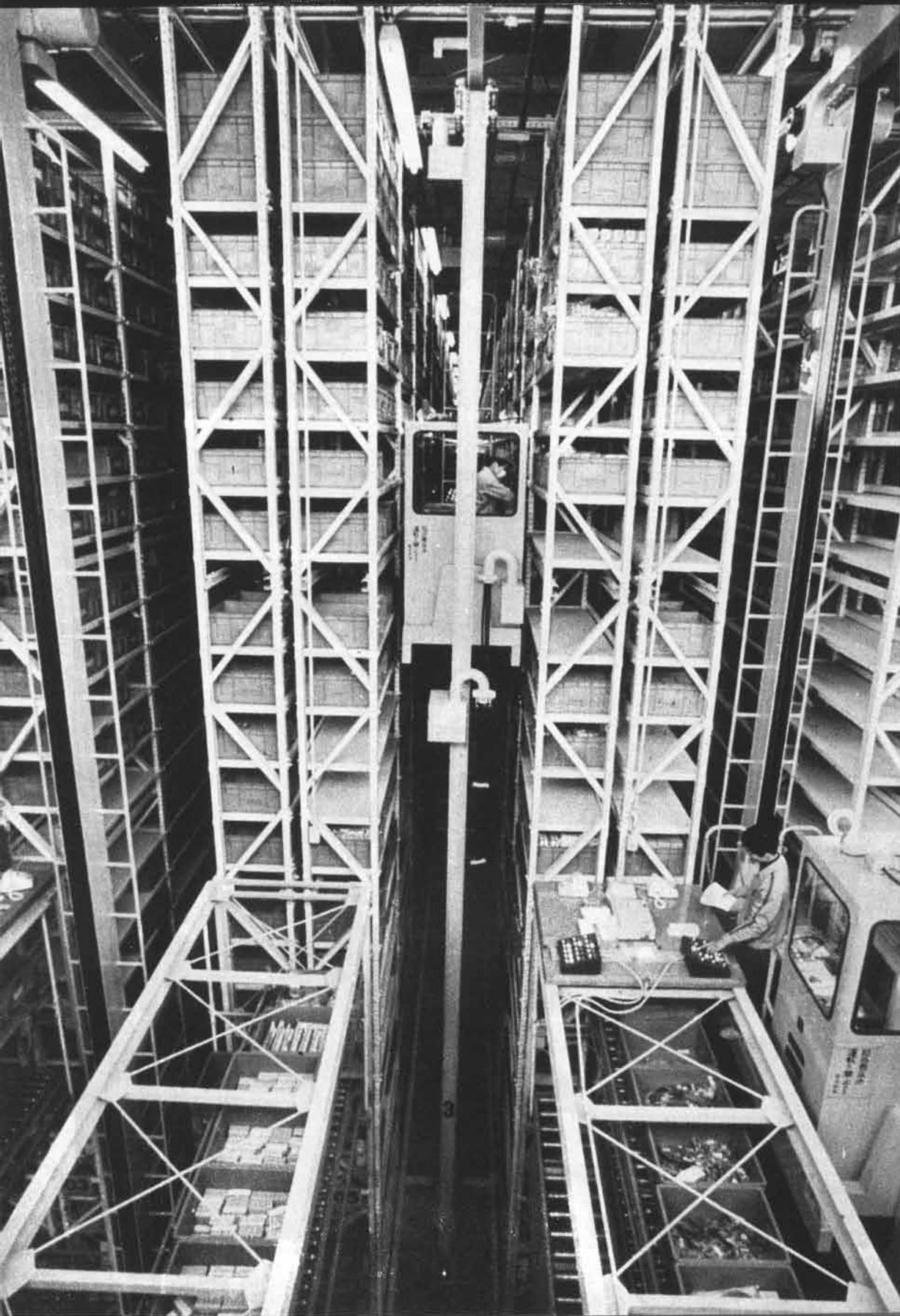
# ヤマハ・パーツセンター

ヤマハ製品の補修用部品を全世界にわたって、円滑に、そして迅速に供給するための中枢ともいふべき「ヤマハ・パーツセンター」の披露式が、2月12日、地元関係者多数の列

席の上で開かれました。静岡県磐田市のヤマハ発動機磐田工場に隣接して建設されたこのヤマハ・パーツセンターは、最大の規模と最新式のシステムを誇っています。

## 高層ラック

12メートルの高さにそびえ立つ高層ラックの谷間で、モノリフトが活躍します。

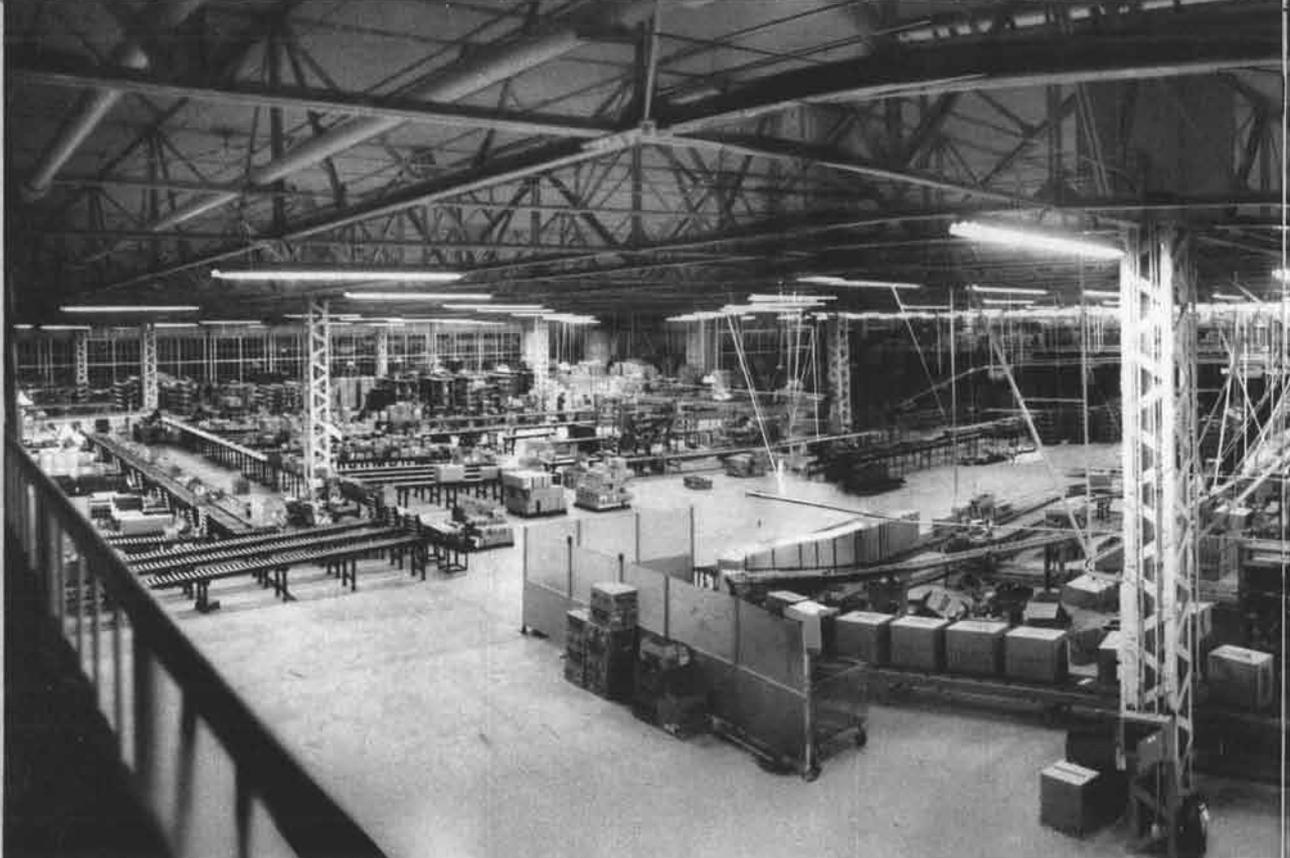




なごやかに披露式

竣工披露式の席上では、地元の人びとが、磐田市とヤマハの繁栄を祝して万才!





## コンベアシステム

コンピューターのオンライン化によって、受注入出荷の情報処理が迅速に行なわれる一方、入荷から出荷まで、運搬作業のすべてが、コンベアシステムによって、ムダなく、スピーディーにすすめられます。



## 端末機

事務所の問合わせ端末機、超EO端末機の場合に、現場にも入庫端末機、検取端末機が設置され、コンピューターと結んで、情報処理を行ないます。

ヤマハパーツセンターの特色は、パーツ業務の合理化、情報化、在庫スペースの有効な活用、運搬作業の省力化、作業環境の改善などを積極的に計って、供給体制の確立を目指しているところにあります。

### ■コンピューターのオンライン化

コンピューターのオンライン化による合理的でスピーディーな管理機構は、情報化時代の最先端をゆくものです。

現場と事務所に設置された端末機が、本社コンピューターセンターと結んで、情報処理を正確に行ない、受付けから検収、保管、そして出庫、仕訳、さらには出荷、発送まで、すべてのシステムを適切に管理しています。

### ■搬送作業のコンベア化

入庫から出荷まで、部品の運搬作業が、ほとんどコンベアによって行なわれている点も特色のひとつです。

入出庫とも、コンベアラインの分岐点では、チェーン・トランスファーやチェーン・タイパーと呼ばれる最新の設備が、それぞれの部品を決められたラインへ導きます。この操作は、キー・タッチャーの指先ひとつで行なわれます。



## 格納ライン

検査、内包装がおわった部品は、コンベアに乗って格納庫へ向います。大物部品はリフトで搬送します。

### ■高層ラックシステムの採用

一方、高層ラックシステムの採用は、格納スペースを大きくひろげました。ヤマハ製品の増産体制に応じられる在庫能力を備えています。

エンジン部品、電装部品など、出庫回数の多い部品は、この高層ラックに収容されます。棚のビルディングという形容にふさわしく、面積一、六四三平方メートル、高さ一二メートル、奥行き八〇メートル、保管スペース二、一〇〇平方メートル、パーツボックス五万八千を収容できる大規模な設備です。

### ■活躍するモノリフト

十六レーンにおよぶ高層ラックの間を八基のモノリフトが、一分間に八十メートルのスピードで、前後に上下に、そしてななめにも走り回って、部品の入出庫を行ないます。

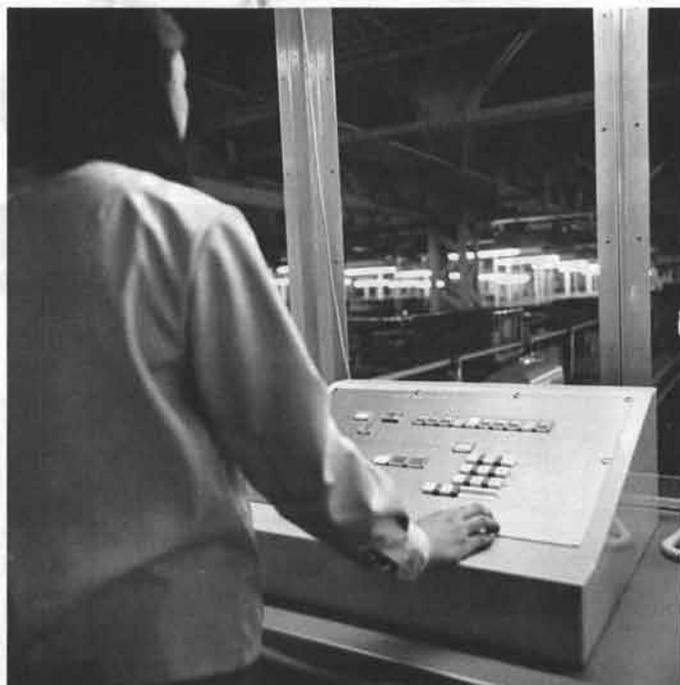
このモノリフトは、一度に〇・五トンの部品を揚げることができます。

部品倉庫の概念を一掃する、すべての点で近代的なヤマハ・パーツセンターの完成で、ヤマハ製品の増産体制に応じられる在庫能力が備われました。

また、補修用部品の供給の円滑化は、ヤマハ製品の販売促進に大きくプラスします。

### 内部情報システム

それぞれがウレインでの出庫作業は、このテレメールなどによってコントロールされ、仕向先別に部品が順序よく出庫されるようになっていきます。



### キータッチャー

入出庫とも、コンベアのメインラインから分岐ラインへの仕訳けは、キータッチャーの指先ひとつで自動的に行なわれます。

### チェーン・ダイバーター

出庫用メインラインから分岐ラインへの方向転換は、キータッチャーの手でチェーン・ダイバーターと呼ばれる装置が作動して行なわれます。



# ヤマハ クラブ

スポーツレジャー

## バスを連ねて磐梯国際スノーランドへ

多様化する現代のヤングマンのレジャー活動を通じて、お店のユーザー層を大規模にとらえ、さらに多彩なスポーツ活動を積極的に推進することによって、お店とお客さまをグンと近ずける「ヤマハ・スポーツレジャークラブ（SL会）」が活動をはじめました。

全国のトップを切ったのは東北地区。二月十四日には、仙台支店を中心としたヤマハフレンド店さんの協力のもと、多数のお客さまを集めて、このSL会がスタートしました。

今回のテーマは、スノーモビルレースの観戦とスノーモビルの試乗を合わせて楽しもうというもの。

日本交通公社とのタイアップによって、仙台、山形、福島、いわきの四カ所からバスでスタート、折りしも全日本選手権第二戦・会津スノースタジアムの行なわれている磐梯国際スノーランドへと向かったわけですが、

各地から会場に集結したSL会員たちは、歓声を上げながらのスノーモビル試乗会を楽しみ、豪快なレース展開に酔いしれ、果てはなごやかな昼食会など、心ゆくまで雪の休日を堪能していました。

午前7時、仙台市からはAコースのお客さまが満席でスタート。心はずでに銀世界に飛んでいる。



さすがに手際よい交通公社のリーダーの方、この日の会費は、全行程の保険料も含め、しめて一、五〇〇円也。



秋晴！  
母ちゃん

# 活動をはじめた

## 日本交通公社とタイアップ 四台の



車中では、ヤマハスノーモビルの大活躍ぶりを報じるヤマハニュース特報も配られ、さよりのムードをグンと盛り上げる。



実戦の迫力を肌で感じ、豪快なレースにしばし我を忘れるSL会員たち。



「ホー、簡単だねスノーモビルってのは」  
あちこちで歓声があがる楽しい試乗会。

# 好評！ ヤマハ原付免許教室

## お母さんも走った

# 正しい乗り方講習会

「二輪車に乗りたいが、運転を覚えてもらうチャンスにめぐまれない」とか、「原付の免許はとったが、運転に自信がない」というお客さまの要望に応じて、ヤマハ運転免許教室の正しい乗り方講習会が、さる二月六日、静岡県焼津市の赤灯台前でひらかれ、好評をうけました。

主催は焼津市の七店のヤマハフレンド店さん（斉藤輪店、塩沢輪店、みなみ輪店、清水輪店、宮島輪店、高井輪店、村松輪店）の共同主催で、これまで定期的に実施してきたヤマハ運転免許教室の一環としてひらかれたものです。

参加したお客さまは二十名。うち半数は女性の方で、若い人にまじってエプロン姿のお母さんの顔もみられ、熱心に運転の手ほどきをうけたものでした。

用意された車は、新発売の「らくらくメイト」をはじめヤマハミニFT50、ヤマハスポーツFS50などいろいろとどり。

講習は各部の名称、働らきなどの説明にはじまり、エンジンのかけ方からスタートの実

講習はまずインストラクターによる各部の説明からはじまった。乗るのは初めてというお客さまだけに、ちよつと緊張がみえます。



▶大丈夫、大丈夫。うしろに同乗したインストラクターの手ほどきで、ソロリ、ソロリ。



▶乗り方の手順をマスターしたら、インストラクターはうしろについて単独走行。

際、ギヤ・チェンジの方法、ブレーキの操作とすみ、はじめはおそろおそろまたがって、車のうしろをインストラクターに支えられたお客さまも、やがて単独走行に移り、一時間後にはすっかり自信をもって正しい運転を披露するまでに上達しました。

講習をうけたお客さまの一人、主婦の小笠原さんは「いままでオートバイの運転なんてとてもむずかしいものとあきらめていたのです。でもヤマハ運転免許教室で講義をうけ、正しい乗り方の講習までいねいに教えてもらえば、案外やさしいのでホッとしました。主人もきつと喜んでくれると思います」と、さすがに嬉しそうでした。

なお、この正しい乗り方講習会は、今後も定期的に行なわれることになっています。



◀ホッ、すごーい。若い衆も驚くばかりの上達で、スポーツ車に乗り換えるお客さまも……

もう大丈夫。ソラッ。インストラクターの▼要領よい指導で乗り方もすっかりイタについた様子。

▼ものの20分もたたずして、ご覧のとおり。右に左に、見違えるばかりの運転ぶりです。



# 好評！ヤマハ二輪免許教室

## 基礎から正しく運転実技指導

原付免許はもっていても、二輪免許はまだという若いお客さまを主体にした運転実技の乗り方講習会が二月十四日、静岡県自動車学校浜松分校の運転練習コースを会場にしてひらかれました。

二輪車の運転は本来やさしいもので、原付免許をもっているような人なら、殆んどの人が上級のより大きな車を扱えるというのですが、それだけに無資格運転にはしりやすいともいえます。そこで、危険な無資格運転や無免許運転をなくし、正しい乗り方をマスターして二輪免許をとってもらおうと、オートバイのメッカ・浜松市のヤマハフレンド店さん五店（川島商会、駒月サイクル商会、古橋商会、ミソノサイクル、長谷川カンパニー）の協力のもとにヤマハ浜松株式会社が開催したものです。

原付ならずでベテランというお客さまもインストラクターによる正しい乗り方の実際をまじかに見て、初心にかえっての復習です。

「運転は安全第一が基本。試験に際してはいかに安全を重視しているか、態度で示さなければなりません。一時停止もただ止まれば



▲正しい乗り方の基本は、運転にふさわしい服装と、無理のない乗車姿勢から……。インストラクターの適切な指示がとぶ。



◀コースの紹介。指定された走路を間違えると大きな減点となる。道がないところを走るのと同じにみられるのだ……と説明。



よいというものではない。左右の安全を確認  
なければいけないのです。それも目玉だけ  
動かして見たというのではダメ。左右の方向  
に顔を向けて安全を確認しましょう。試験官  
は遠くにいても、あなたは常に採点されてい  
るのです」……など、受験に際しての細かな  
注意も出たりして、これまた大好評でした。

▲ギヤ位置を示す特製の試験車にまたがり、インストラクターの伴走をうけて練習に入る。



コースを2周3周するうちに、すっかり試験時の要領をのみこんで安全運転をみせる。もう、二輪免許はもらったヨ……。

## 軽自動車の車検実施

### 繰上げか

▶二輪車については結論出ず◀

★いろいろと取沙汰されている軽自動車の車検実施問題ですが、このほど担当の運輸大臣が国会で早期実施を表明したことから、わかに注目を浴びています。

〔二輪車新聞〕軽自動車の安全確保と排気ガス公害防止を図ることを目的に、運輸省は、かねてより軽自動車にも車検制度を適用する方針で検討をつづけていたが、参院運輸委員会で橋本運輸大臣は三木忠雄委員（公明）の質問に答えて「四十八年度実施をメドにしているが、できれば一年から半年繰上げて実施したい」と答弁、各界より大

な注目がよせられている。

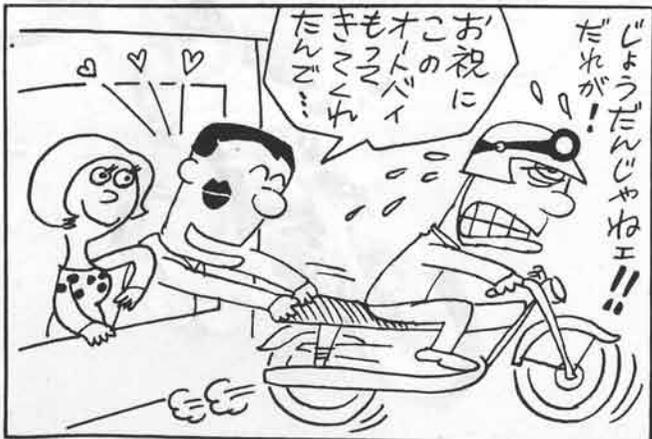
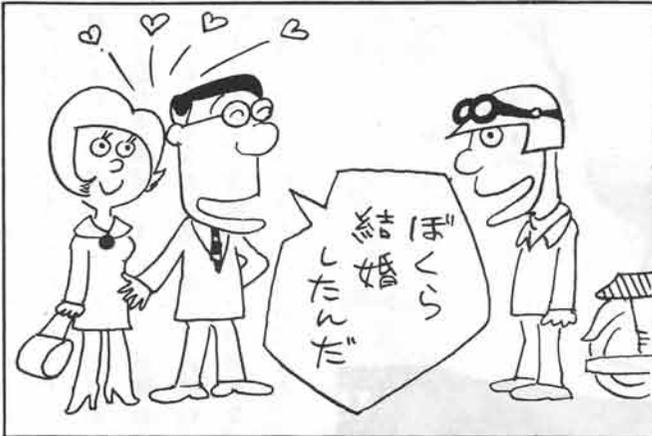
これまでは「軽自動車も車検実施は必要だ」としながらも、実施時期については「なるべく近い将来に」といった表現がされていただけで時期は明示されていなかっただけに、橋本運輸大臣の発言は注目され、この結果、早ければ来年四月、遅くても四十八年には車検実施は必至となった。

運輸省の調べによると、現在、全国にある軽自動車は五百八十四万二千台で、この内訳はオートバイ（排気量一二五ccを超え二五〇cc未満）五十七万四千台、軽三輪車（同三六〇cc以下）十一万九千台、軽四輪（同）五百十四万九千台となっている。現在、これらの車はいずれも車検の対象外で、三十八年の道路運送車輛法改正によ

り六か月ごとに自主的に定期点検整備を受けなければならないが、この規定には罰則がないため実際には野放し状態。

運輸省のこれまでの検討では、車検はブレーキ、排気、スピード検査など現在普通車で行なっている車検と同様の検査が必要だとしているが、問題は車検施設の不足で、同省は今国会に民間車検の大巾増強を目的とした道路運送車輛法および自動車検査登録特別法の一部改正案を提出している。

なお、車検の対象にオートバイを含めるかどうかはまだ結論を得ていないが、実施にあたっては民間車検で大半をまかなえるようにしたい意向で、このため二輪車専門の車検のできる整備工場の基準もおいおい検討していきたいとしている。



# 春の需要を倍増する!

## 新発売

モータースポーツの世界をひろげ、新しい需要をつくるヤマハが、春の需要を倍増する新商品をおとどけいたします。

### ヤマハ トレール HT90



### ヤマハ スポーツ AX125



### ヤマハ メイト V90-D



売れる春のシーズンに、売りやすい人気車種の新車登場!  
積極的に需要をつくる躍進ヤマハの姿がここに 있습니다。  
どうぞ、存分にご拡売ください。

# ヤマハトレールHT90

レジャーにスポーツに、もっとも巾広い需要層をもつのが90トレール。『ヤマハトレールHT90』は、従来のものに増してたくましく、安全・豪華になったのデビューです。



精悍なスタイルに加え、実力もさらにアップ。一段とたくましさを増した『ヤマハトレールHT90』はHT1とならんで新たな需要の世界をひらくエースです。

## ▼充実した内容のHT90

ご覧のとおり、スタイルは一新。ワイルドタッチの鮮烈なデザインで、ひととき目につく存在です。

また車体構成をひとまわり大型化し、足まわりを強化、同時にリードバルブ方式の新型エンジンを搭載して飛躍的な性能アップを図り、90トレールとしてはもっとも充実した走行性能をもつものとなりました。

## ▼新開発のリードバルブ式エンジン

まずエンジン。

『ヤマハトレールHT90』のエンジンは5ポート・リードバルブ方式で、低中速でネバリ強く、しかも高速で伸びのよいその性格は、まさに実戦型です。冷却フィンも大きく、とくにシリンダーヘッドは前方開きとして、効果的な冷却が行なわれるものとしています。

またエヤクリナーは湿式モルトブレンの高性能型とし、外部からメインジェットを交換できる新型キャブレター(VM20SC)を採用、マフラーはエンジンを下から抱くように大きく湾曲して後方に伸び、アップとなるレーシングタイプとしてあります。

変速は従来どおり左足動の5段リターン式

# ★春の需要を倍増する!!

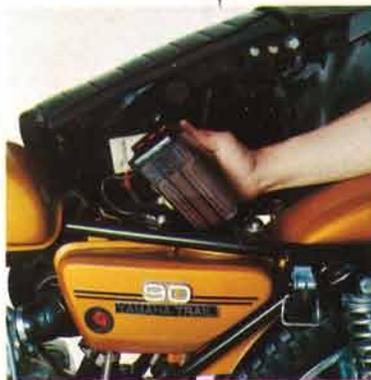
新発売



スリムな車体構成。マフラーはダウン型だが車体巾はせまい。フートレストは可動型



- 全長1930mm 全巾865mm 全高1080mm 軸間距離1260mm 最低地上高210mm 重量87kg
- 舗装平坦路燃費65km/ℓ (50km/h) 登坂能力27° 制動停止距離15m (50km/h)
- エンジン5ポート・リードバルブ89cc (50×45.6mm) 圧縮比6.9 最高出力10PS/8000rpm 最大トルク0.95kg-m/7000rpm 点火方式マグネトー 始動方式プライマリーキック 変速機5段リターン式
- フレームダブルクレードル型 燃料タンク容量6ℓ オイル1.2ℓ 前輪支持テレスコーピックオレオ 後輪支持スイングアームオレオ (5段切替) タイヤ寸法前2.75-19 後3.00-18 電装6V 前照灯25/25W
- カラーはキャンディイエローとブリリアンレッドの2色



ワンタッチで開閉できる横開き式シート。バッテリー液、オイルの補充も簡単



メーターの左にあって、すぐに手がとどく、扱いやすいメインスイッチ

で、始動はプライマリーキック方式。燃料消費率は50km/hで65km/ℓの経済性をもちます。

## ▼抜群の悪路走破性

フレームは、もちろんダブルクレードル型で、前輪支持にはこのクラス最大の145mmのクッション・ストロークをもつものとしています。また後輪支持は5段切替えのレーシング仕様で、マフラーはダウン型ながら、なおかつ210mmのロードクリアランスを保持します。

迫力あるハイ・フェンダーは、このHT90の大きな魅力の一つですが、さらに前輪には19吋リムを採用、バランスのとれたクッション、ロング・ホイールベースとあいまって悪路における卓越した操縦性能、走行安定性能を満喫できるのも大きなセールスポイントとなるものです。

そのほか、テールライトやフラッシュャーライトの大型化による安全性の向上、夜間文字盤がグリーンに浮きあがるスピードメーターおよび漸新なカラーリング、印象的な燃料タンク形状など、若いお客さま方の要望に応えたHT90は、トレールのピギナーはもとよりベテランの人も満足させる強力なニューモデルとしてご商売いただける新商品です。

# ヤマハスポーツAX125

スポーツ車の持ち味を手軽に楽しみ、いっぽう実用面への巾広い応用度をもつストリートマシン、それが新発売の『ヤマハスポーツAX125』です。

AX125の市販車はすべてアップハンドルで発売されます



洗練されたニュー・スタイルの『ヤマハスポーツAX125』。すべてにグレードアップした内容があらたな話題をよぼう

## ▼グレードアップした本格派

近年ますます需要の巾を広げてきているスポーツ車にあって、125cc級は本格スポーツの入門をつかさどる重要部門といえます。

このため、『ヤマハスポーツAX125』は将来の大型車への移行を見込してなおかつ魅力的なもの、という設計方針を大前提として意欲的に開発をすすめてきたものです。

まず外観上の特徴としていえることは、全体的なデザインをRX350、DX250にならない、総体的に大型化し、装備面をはじめカラーリングなど、すべてにグレードアップしていることです。

これももつとも大きなセーリングポイントといえましょう。

## ▼アルミ・シリンダーを採用

定評あるツイン・エンジンは、もちろんツイン・キャブ方式ですが、スターターを左右連動式として、寒冷時の始動のバラツキをなくしたほか、エアクリーナーの形状を改め、吸気効率をも高めています。

また5ポート方式のシリンダーは冷却効率にすぐれた特殊鑄鉄入りアルミ製とし、ヘッドのフィン形状を改良して冷却効果を一段と高めています。

さらにクローズドレシオのリターン式5段変速機は、そのチェンジ機構をレーシングタ

# ★春の需要を倍増する!!

新発売



見やすいメーターと扱いやすい両面式キー



2キャブ、アルミシリンダーのエンジン



大型ドラムを採用した防塵防水ブレーキ



リンク機構式のチェンジペダル



5段切替えのリヤ・クッション



新しいパターンの後タイヤと、大型になったマフラー



- 全長1915mm 全巾765mm 全高1070mm 軸間距離1240mm 最低地上高160mm 重量99kg
- 舗装平坦路燃費50km/ℓ (50km/h) 登坂能力22.5° 制動停止距離14m (50km/h)
- エンジン5ポート・アルミシリンダー2気筒124cc (43×43mm) 圧縮比7.0 最高出力15PS/8500rpm 最大トルク1.3kg・m/8000rpm 点火方式バッテリー 始動方式プライマリーキック 変速機5段リターン式
- フレームダイヤモンド型 燃料タンク容量9ℓ オイル1.5ℓ 前輪支持テレスコーピックオレオ 後輪スイングアームオレオ (5段切替) タイヤ寸法前2.50-18 後2.75-18 電装12V 前照灯35/35W
- カラーはメタリックブラックとマンダリンオレンジの各2トーン

イブのリンク式に改めました。

これらの改良は、新感覚のクランクケースカバーのデザインと共に、A X125の心臓部をよりたくましくみせ、大きなセールスポイントとしてご活用いただけるものです。

## ▼充実した装備プラス安全性

いっぽう車体関係では、ダイヤモンド型のパイプフレームをレーサー仕様として、強度ならびに剛性を高めてあります。同時にロードクリアランスを10mm広げ、バンク角も増大させてあります。

またホイールベースを40mm大きくとり、シートも大型化して、充実した乗車感を味わえるものとしてあります。なおシートは横開き方式とし、ワンタッチで開閉できる仕組となっています。

安全性の向上についても、このA X125では格段に進歩しております

たとえば、ブレーキはドラム径を20mm大型化の150mm径として制動力を大巾に強化したほか、前後にサイド・リフレクターを配し、ストップライトを大型化、フロントブレーキのみの操作でも点灯するものとしています。

そのほか、ワンハンド・コントロールのスイッチ類、便利な両面式キー、夜間は鮮やかな緑色に光るメーター文字、9ℓ容量の新型燃料タンクなど、数々のすぐれた装備を施して、商品魅力を大きく高めてあります。

# ヤマハメイトV90-D

さらに乗りやすく、豪華になった“らくらくメイト”に大型の登場です。メイトの需要を大きく広げる新製品です。



アルミシリンダー 90ccのエンジンをもつニュー“らくらくメイト” 電装は12ボルトシステムを採用している

▼使用範囲を広げた90ccエンジン  
ニュー『ヤマハメイトV90-D』は安全・豪華なデラックス仕様車です。

基本的には先に発売した“らくらくメイト”V50/V70シリーズと大きな相違はありませんが、89ccの大型エンジンを採用していることから、動力性能は一段と向上し、重荷の積載や長距離走行など、その使用範囲を大きく広げております。

## ▼燃料タンク、タイヤも大型

エンジンはすでに好評を得ているリードバルブ方式を採用、実用回転域において大きな出力を得られる扱いやすいものとし、さらにシリンダーは冷却効率の高い特殊鋳鉄入りアルミ製として、常に安定した出力を維持できるものとしています。

またエンジンは大きく、力強くなりましたが、燃料消費率は80km/ℓ（40km/h定地）と経済的で、そのうえ燃料タンク容量も5.3ℓと大型化し、タイヤも太く（2.50-17）してありますので、長時間、長距離の使用はいままで以上に便利なものになったといえます。

ゆとりあるライディング・ポジション、らくらく足が地につく乗りやすさ、そして充実された安全性など、数々のすぐれたメイトの特徴はこのV90-Dにおいてもすべて受け継が

# ★春の需要を倍増する!!

## 新発売



すっきりとまとまったV90の前後スタイル



■全長1845mm 全巾 645mm 全高1010mm 軸間距離1180mm 最低地上高135mm 重量80kg  
■エンジンリードバルブ方式89cc (50×45.6mm) 圧縮比6.8 最高出力7.5PS/6500rpm 最大トルク0.95kg-m/4500rpm 点火方式バッテリー 始動方式キック 変速機3段ロータリー/シーソー併用式 クラッチ湿式多板自動遠心式



安全性を重視した大型フラッシャーランプ、マーカーランプ、サイドリフレクター

れた設計となっていることはいうまでもありません。

たとえば、安全性を高度に保つ防水防塵式ブレーキ、12V電装による大型照明類、サイドリフレクター、オーディオパイロット付フラッシャー、前ブレーキストップライト、オートループオイルの残量明示方式、負圧式燃料コックなどがそれで、そのほか大型キャリヤに加え重宝なフロントキャリヤ、サイドスタンドの装備もあります。

# メイトを!



ママは5歳書きコンテスト

はじめる!



# 一家に一台ヤマハ

★お店とヤマハをつよく印象づける

## ヤマハらくらく書きコンテスト



だれにも手軽に乗れ、安全で楽しい乗り物として広く親しまれているヤマハメイトが、装いも新たにさらに豪華で乗りやすい「らくらくメイト」に生まれ変わります。ますます好評—

これを機会に、この「らくらく乗れる、らくらくメイト」を、さらに強烈にイメージづけ、「一家に一台ヤマハメイト」と、さらに幅広く家族ぐるみで親しんでいただくというのが、今回の「ヤマハらくらく書きコンテスト」です。

子供たちは、みんなクルマ好き。そんな子供たちの夢を思いのままに描いてもらう、楽しいコンテストです。

そして、こうした子供たちの楽しい遊びを通じて「らくらくメイト」を家庭に深く浸透させ、お客さまご家族ぐるみをお店に親密に結びつけるものです。

春の需要期を迎え、お店でもいろいろと増売プランをご計画中でしようが、より一層の需要拡大に、この楽しさいっぱいの「らくらく書きコンテスト」を、積極的にご利用ください。



配布



応募

## ヤマハらくらくが書きコンテスト記念品

らくらく賞(参加賞)	ヤマハ特製ジャンボ鉛筆……………全	員
メイト賞	ヤマハカラー鉛筆……………	お店推薦作品
佳作	ヤマハカラースケッチブック…	特約店推薦作品
ヤマハ銅賞	ファンシーケース……………	ヤマハ支店推薦作品
ヤマハ銀賞	ヤマハNSステレオ……………	本社賞
ヤマハ金賞	ヤマハエレクトーン……………	本社賞

### ★コンテストの方法

これは、ぬり絵のコンテストです。ご応募全員のお子さまに楽しい記念品(ヤマハ特製ジャンボ鉛筆)をお贈りします。

### ★実施期間は

46年4月15日から6月30日まで。応募の締切は5月31日です。

### ★子供たちが対象です

応募の対象は、幼稚園児と小学校児童です。これら子供たちを通じてそのご家族全員と、子供にも人気のお店の印象を結びつけるのがこのコンテストのポイントです。

### ★お店がはなやかな展覧会場に変わります

応募作品は必ずお店で受け付けましょう。そして子供たちの力作は、すべて店内に展示してください。お店はたちまち楽しい雰囲気です。

### ★メイトの展示会で効果も倍増

同時にメイトの展示会を併催しましょう。お店を訪れた応募者の方に、実際に見たり、さわったり、乗ったりしていただいで「らくらくメイト」の楽しさを十二分に理解してもらえば、これからのご商売もぐんと拡大しやすくなります。

### ★町中にお店の名が広がります

お店の名前、住所、地図などを刷込んだぬり絵チラシが応募用紙になります。お店の店頭から、ご近所の新聞店などから



各家庭に配布しましょう。お店の印象は、楽しい「らくらくメイト」のお店として、町中にひろくPRされます。

★楽しい記念品、用品も豊富にそろっています——

子供たちには参加賞として「らくらく賞」特製ジャンボ鉛筆をはじめ、夢のあふれる記念品をいろいろ用意しました。

お店には、メイト基本ツールほかキャンペーン用チラシ、懸垂幕、ポスターなど用品も豊富にそろいます。

★第一次審査はお店で——

お店に集まった全作品の中から、子供らしさ、夢のある楽しさを規準に五点選んで特約店に提出していただきます。そのご第二次、第三次審査を経てヤマハ本社へ提出され、本社で最終審査を行います。審査にはザ・ドリフターズ、阿部進、伊藤アイ子など子供たちの人気者があたります。

(なお応募作品は一切返却致しません)

★強力なPR活動を展開します——

ヤマハはコンテスト期間中、テレビを通してキャンペーン・CMスポットを放映、全国に呼びかけます。また有力子供向け雑誌に広告を掲載するなど、らくらく書きコンテストのムードを最高度に盛り上げるPR作戦を展開します。コンテストに関する詳細は担当セールスマンにお尋ねください。

こんにちは  
**ヤマハ**  
です



## 新しい店舗で魅力ある活動

愛知県豊川市

和田スポーツレジャーショップ

スポーツ車を売る店にふさわしい新しい店舗で、若いお客さまにアツピールするいろいろな活動を展開しているヤマハスポーツ店・和田スポーツレジャーショップをご紹介します。

### ◆モトクロス教室も開催

豊川稲荷で有名な愛知県豊川市のヤマハスポーツ店・和田モーターズさんは、昨年十月末、東名高速道路にほど近い、国道151号線ぞいに新しい店舗を完成。同時に店名も「和田スポーツレジャーショップ」と改名し、お店の繁栄を目指しています。

立地条件のよさと近代的な店舗が相乗効果をあげて、新しいお客さまがふえています。運転免許教室やトレール教室、モトクロス教室の開催、スポーツクラブの結成、トレールランドの活用など、魅力のある活動の成果でもあります。

### ◆つねに若者の流行をキャッチ

新店舗は、フロア面積が二〇〇平方メートル以上もあり、展示車種も数十台。ヤマハオートバイの全車種がそろっています。

新聞折込みチラシなどによる広告宣伝もきいて、遠方のお客さまもふえ、ときには百キロもはなれたところから訪れるお客さまもあります。

「駐車ができるということで、自動車で見えて、ゆっくり車を選ぶお客さまが多くなりましたね」と、経営者の和田敏さんは語っています。

店舗が美しくなったことで、用品類の売れ行きがよくなったのも注目されます。

つねに若い人たちの意見を聞いて、流行を



▲鈴木秀明選手を囲んでモトクロス教室

適格にキャッチしようとする努力も見逃せません。  
ヤマハ・ヤングルック・コーナーを設けて服飾品関係にも、もつと力を入れようと、計画しています。

#### ◆二階をお客さまの社交場に

新しい店舗の建設にあたって、二階をお客さまの集会の場として設計したのも特色です。ここでは、毎月第三日曜日に、展示会をかねて、原付免許教室が開催されます。受講者も毎回コンスタントに集まり、和田スポーツレジャーショップの恒例の催しとして、知られるようになってきました。

原付免許教室にひきつづいて、自動二輪免許教室の開設を和田さんは計画しています。

「市内の事業所に呼びかけて、五人とか十人とか、受講希望者が

集まったら、自動二輪免許教室を開こうというっています。近く、その第一回目を開きますが、試験に合格したら、みんながオートバイを買ってくれることになっています。

また、第三土曜日には、ツーリングクラブ「ヤングパワー」の例会があります。50人にもばるクラブ員のうち、80%ぐらいが顔を見せたいへんにぎやかです。

M・F・J・セニア級のライダーを招いて、モトクロス教室を開設したこともあります。

このフロアを若い人たちの社交場として開放することを和田さんは考えています。

#### ◆だれでも参加できる組織を

ツーリングに、あるいはトレールランドにおける自由走行に、和田さんと従業員の藤枝辰雄さんは、お客さまと一緒に行動します。

ヤマハスポーツレジャークラブに入会するお客さまもふえ、スポーツ、トレールの前途は有望です。

一方、安定した需要のあるヤマハメイトについても、ことしは力を入れる方針を建てています。

日本の東西を結ぶ交通の要衝にあつて、ツーリングのコースには恵まれています。

オートバイを持っていない人でも、スポーツ走行が楽しめるような組織づくりを和田さんは計画しています。

アイデアと行動力で、新しい需要をきりひらく和田スポーツレジャーショップです。

# ジムカーナに集うトレール仲間

## ——トレールランド愛知——

春まだ浅い二月七日、トレールランド愛知に約二百名の若者たちが集まり、新春ジムカーナを楽しみました。

快晴の天気には恵まれたものの、二月の風はまだ冷たく、見学の方々の多くは、エリをたてての観戦でしたが、そんな風もトレール仲間にとっては問題の外。むしろ一走りした後ほてった肌をさますので心地よさそう。

新しく浜北市に設立されるトレールランドの準備調査をかねて見えられた静岡県議員、浜北市会議員のみなさんも、寒さを忘れて競技の進行を熱心に観戦。



パン喰い、ランデブー、遅のり競争と、バラエティに富んだジムカーナーに楽しい一日を過ごしたものでした。

またこの日の大会には、静岡県議、浜北市議のトレールランド視察団の一行も見え、トレール教室にジムカーナに熱中する若人の健全な姿に目を細めていました。



賽を待ちきれずに集まったトレール仲間。200名。盛会のトレール教室です。



ミニFT50とDT250のランデブー競技。

## 雪上運動会の人気もの

中里フェスティバルのS.M

スキーシーズンたけなわの二月二〇日、東京から日帰りのできるスキー場として人気の高い新潟県・中里スキー場で、ヤマハ・スノーモビルによる雪上運動会・中里フェスティバルが開催されました。

これは、同スキー場でスノーモビルのレンタルを行なっているシルバー商事が、ヤマハ東京支店の協力を得て、お客さまへのサービスの一環として行なったもの。

レディースレース、二人乗りツアーレース、パン喰い競争、風船わり、宝さがし、索引スキーレースなどスノーモビルの楽しさをフルに活かしてレース内容もいろいろと盛りだくさん。お客さまのほとんどがスノーモビルは初めてのスキーヤーばかり。若い女性の参加が非常に多く、にぎやかな声援がとびかい、この日のゲレンデは、ヤマハスノーモビル一色といったところでした。

これは愉快。スノーモビルによるパン喰い競争



# トレールランド 高松が オープン!!

〔四国支店発〕本格的なシーズン到来を目前にした二月七日、四国地区で最初の本格的な規模をもつ「ヤマハトレールランド高松」がオープンしました。場所は高松市から車で約三十分の香川県大川郡大内町で、二万坪におよぶ敷地に全長二・一キロのコースを施設、パドックはもとより一般客用の駐車場を持つという立派なもの。

当日のオープン記念行事にはセニア・ライダーの鈴木忠男、鈴木秀明、加藤清丸の三選手も駆けつけ、地元のお客さまと一緒に試走パレードに加わりました。

当日の天候は、ときおり雪がチラツクといったあいにくの空模様でしたが、モトクロス

競技が始まると、一般のお客さまも次第に増えて、駐車場もそうとうな混雑。さすがにトレール・ファン待望のランドびらきの様子がかがえました。

モトクロス競技の終了後、前記三選手によるサイン会がひらかれましたが、これも人気が上々で、押すな押すなの長蛇の列が出来るほどでした。

地理的条件、充実した規模をもつ「トレールランド高松」は、四国選手権シリーズのモトクロスをはじめ、MFJ公認レースも開催されることになっており、若人のあつまる広場として大きな期待をあつめています。

（営業技術課・後尾正則）



71トレール教室（東北）

## インスタトラクター 会議ひらく

〔仙台支店発〕春の遅いみちのくですが、シーズン開幕をひかえた二月十三、十四日の両日にわたり、東北六県下のインスタトラクター代表十六名を招いて、「71トレール教室インスタトラクター会議」を開催しました。

またこの席上、昨シーズンのトレール教室開催実績とその内容においてはなばなしい活躍を果たした上位五名のインスタトラクター、松岡文紀さん、太田弘男さん、武田俊彦さん、児玉一之さん、米倉征三さんを表彰、感謝状と記念品をお贈り致しました。

東北地区のインスタトラクターは、いずれの方々も優秀で、とくにモトクロス競技では東北選手権シリーズ（六回戦）の二部門六種目のうち五種目をトレール教室のインスタトラクターが制覇しています。

（営業技術・高橋）



# YAMAHA TOPICS YAMAHA TOPICS

サイン会で“ウデ”をふるう？鈴木忠男(右)、鈴木秀明(左)、加藤清丸(下)のセニアライダー



喜びいっぱいの気持ちを排気音に託して、元気に試走する若い人たち。



'71シーズンを迎えて、熱心な討議がつづけられた東北の'71トレール教室インストラクター会議



東北選手権シリーズのチャンピオンとなったトレール教室インストラクターの晴れ姿。右よりノービス90、125両部門を制覇した山口達夫、同じくジュニア90、125両部門制覇の奈良優、ジュニアチャンピオンの佐々木幸一の諸氏



カートで初めて

## 銘柄指定の

## 2ヒートレース

〔大阪支店発〕「ヤマハ汎用エンジン」を車体後部にのせたゴーカートレースが、このほど日本カート協会関西支部の主催によりびわ湖スピードランドにおいて行なわれました。

この行事はニューイヤーカートミーティングの第二部として行なわれたもので、一周一・二キロのコースを三〇周二回という2ヒート・システムで、出走車はすべて「ヤマハ汎用エンジン」をのせたカートに限定されたもの。このような銘柄指定のレースは外国ではしばしば行なわれているものの、日本では初めてのケース。

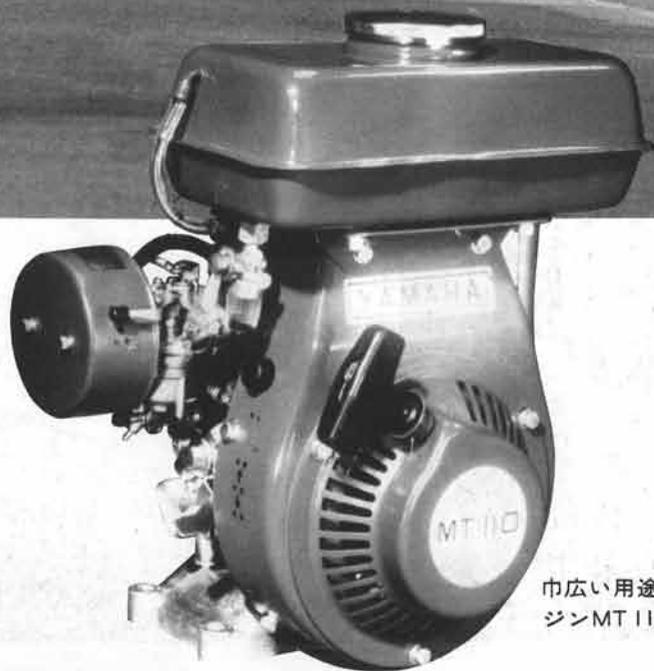
しかしカート・ファンの中で、すでに定評を得ている「ヤマハ汎用エンジン」のこと。エントリーは二十三台を数え、このうち車検合格車十九台が出走、右に左に、快調なエンジン音を響かせスピードと技術を競いました。この結果、第一ヒートで二位、第二ヒートで一位を得た⑮中村広満（関西カートC）がみごと栄冠を獲得しました。

なお、このカートレースのスターティングポジションは、第一ヒートは一台ずつのタイムトライアルにより、第二ヒートは第一ヒートのレース成績により決められました。

（営業課・牧野）



このゴーカート、エンジンはみなヤマハ汎用エンジンを使用している。



巾広い用途に活躍しているヤマハ汎用エンジンMT110

# 特賞！ 「トレーラーと モデル」

これは、兵庫県ヤマハフレンド店会ならびに、磯丸八モーターズさんの主催で行なわれた「兵庫県ヤマハ集合ラリー第一回東条湖大会」での撮影コンテストの特賞作品。一五〇名を超えるお客さまを迎えてのスポーツツレジャー！

行事であっただけに、多数の応募が集まりましたが、厳正な審査を経て、人気絶頂のヤマハミニモデルを巧みに配した篠原誠一朗さん（兵庫県津名郡志筑二六二五桜寮）の作品が特賞と決定しました。へ28<sup>mm</sup>・f8・1/1000



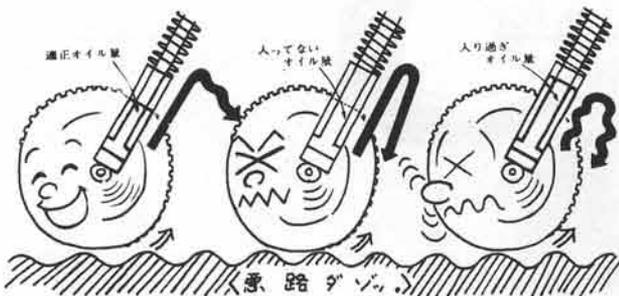
# ヤマハサービスコーナー

## なぜ必要？ フロントフォークのオイル

今号のテーマはフロントフォークのオイルについて。その昔は、オイルダンパーなどはもたず、コイルスプリングのみで路面からのショックを緩和していたものですが、いまはヤマハミニ FT 50から XS 650 に至るまで、構造上の多少の相違はあれ、いずれもオイルダンパー付となっております。またメイトを除いてすべて前輪フォークは筒型となっておりますが、これが望遠鏡のように伸縮してクッションすることからテレスコープ式、あるいはテレスコーピックフォークと呼びますが、オイルダンパー付のものはとくにテレスコーピックオレオフォークといい、略してオレオテレといったりします。オレオとはラテン語でいう油の接頭語で、油圧を意味します。

### ●オイルがないと……

むずかしい話は省いて、フロントフォークのオイルの役割を図で示してみましょ。下図がそれです。左から、1本目は適正オイル量のフォーク、オイルがまったく入っていないフォーク、オイルが入り過ぎているフォークの順で、その作動を表わしたものです。



まず①では、路面からの衝撃をうけて縮まったフォークは、今度はゆるやかに伸びて次の衝撃吸収にそなえますが、②では縮まったフォークは、吸収した衝撃をそのまま吐きだすように急激な反動をみせて伸びています。③は衝撃の吸収もゆるやかであれば、その伸びもまたゆるやかで、結局は衝撃が吸収しきれない状態です。

これでお分かりいただけたように、フロントフォークのオイルはコイルスプリングと共に衝撃を吸収し、吸収した衝撃のエネルギーを徐々に吐きだす働きを行なうわ

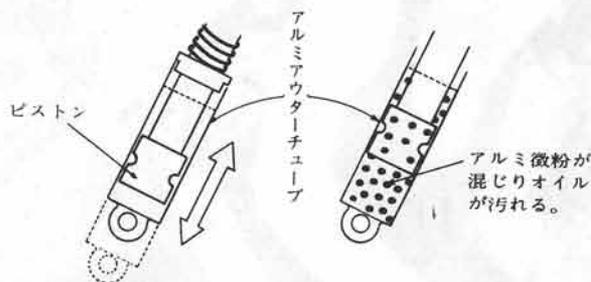
けで、これによりショックの少ない乗り心地が得られることとなります。

もちろんオイルはただ入っていればよいというものではありません。

オイルでショックをやわらげるといことは、油圧の作動を利用するということで、オイルはシリンダーの中に、しかも適正の品質の、適正の量を必要条件とするからです。つまり、油圧ダンパーの働きは、振動によって上下運動するシリンダー中のピストンによってオイルを吐きだし、オイルを吸入する行程のオイル流動の抵抗力を減衰力、すなわち振動を衰えさせる働きに利用しているものなのです。

### ●オイル交換・時期と量

エンジンと同様に、シリンダー（図ではアウターチューブ）の中をピストンが上下運動するので、いかにオイルが入っていようと摩耗もあれば、オイルの疲れも出てきます。このため、エンジンやミッションのオイルと同様に、フロントフォークのオイルも定期的に点検し、交換する必要があります。



新車からおろして、500 km 走行後に第1回目のオイル交換を行ないますが、これは初期摩耗によるオイルの汚れ（摩耗による金属粉の混入）を取除くためです。以後は、アルミ製のアウターチューブをもつもの（トレールシリーズや125 cc以上のスポーツシリーズ）は3000 km 走行毎に、またアルミ以外のものでは5000 km 走行毎に交換します。

オイル抜きはフォークの一番下にある⊕の小さなボルトを取り、フォークを何回かクッションさせてオイルを吐きださせます。

また使用オイルはヤマハギヤオイル A で、フォーク最上部のキャップボルトを取り、ここから適正量を注入します。

各車別の適正量を図示します。なお所定のゲージを挿入してオイル量を計測しますが、各車種ともプラス 0.5 cm、マイナス 1 cm の範囲が許容限度です。

全車種プラス 0.5cm、マイナス 1cm です。



水に遊ぶ楽しさ そこにもっとも人間らしい自然の姿がある



エンジン付で9万4千円。新発売=ヤマハトリマラン8 (TRI-8) はマイ・ボート時代の到来を告げる有力商品です。

# テレビを囲んで一家団らん そこにヤマハの登場です——

どこのご家庭でもテレビは人気者。そのテレビでとくに視聴率の高い番組を選んで、ヤマハのCMスポットが放映されています。ヤマハは、いま積極的なPR活動を展開しています。

## 新発売



## ヤマハメイトはらくらくメイト

### ■ 4月のテレビCMスポット放映番組（全国ネット）

- |  |                                      |
|--|--------------------------------------|
| TBS 帰ってきたウルトラマン<br>ヤマハらくらく書きコンテスト      | NTV プロ野球水曜ナイター<br>ヤマハらくらく書きコンテスト     |
| TBS プロレス<br>ヤマハスポーツ／ヤマハトレール            | NTV プロ野球オープン戦（巨人戦）<br>ヤマハらくらく書きコンテスト |
| TBS スコッチョ大行進<br>ヤマハらくらく書きコンテスト         | NET 全日本女子ボウリング<br>ヤマハらくらく書きコンテスト     |
| NTV テレビジョッキーわんわんふあいぶ<br>ヤマハらくらく書きコンテスト | NET 魔法のマコチャン<br>ヤマハらくらく書きコンテスト       |
| NET プロレス<br>ヤマハらくらく書きコンテスト             |                                      |